

# 2018 ソーシャルワーカーデー in あいち 報告

7月1日（日）日本福祉大学美浜キャンパスにて「今こそ！ソーシャルワーカー～現場最前線～」と題して、2018ソーシャルワーカーデーinあいちが開催されました！

学生約350人、一般の方100人以上の多くの方が参加され、会場が参加者でいっぱいになりました。ソーシャルワーカーデーの内容も例年と趣向を変えて3部制で行われ、第1部は「現役ソーシャルワーカーの実践報告」。第2部は「実習生からみた現場、学生から物申す」第3部は「ソーシャルワークカフェ」を行いました。



第1部では、当協会所属の愛知県済生会リハビリテーション病院の城田晴美氏が登壇され、病院のMSWの役割や事例を通して病院の課題を説明し生活困窮者支援の取り組みを発表されました。城田氏の実践は、生活困窮者が安心して入院生活を送る事ができるように、MSWが変わっても変わらず運用ができるシステムを構築し病院の事業にしたことです。MSWが病院の仕組み作りに関わることができる証明になり、参加された学生にとってはソーシャルアクションの歩みを知る機会になったと思います。

第2部では、学生が実習を通して感じたモヤモヤ感を第1部の実践報告者へ投げかけ意見交換を行いました。

今回の目玉が第3部の「ソーシャルワークカフェ」です。愛知県社会福祉士会、愛知県精神保健福祉士協会、愛知県医療ソーシャルワーカー協会から総勢60名以上の現役ソーシャルワーカーがファシリテーターとなり、30のグループに分かれ、学生など参加者とディスカッションを行いました。60名以上のソーシャルワーカーが集まることや他団体との交流も貴重な機会であり、ファシリテーターからは普段できない他団体と意見交換ができたとの声や学生からの熱い思いが聞けたことが良かったと声がありました。

学生からは現役ソーシャルワーカーが身近で意見交換ができ丁寧に答えてくださりモヤモヤ感がとれたという声や、学生同士でも考えていることが知ることができて勉強になった、もっと時間が欲しかったなどの声をいただきました。

ソーシャルワーカーデーは来年も行われる予定です。愛知県のソーシャルワーカーデーは、他県と比べ他団体と福祉系大学と一緒に運営している数少ない県です。そして、毎年200名以上の方が参加されます。1年に一度のソーシャルワーカーデーが皆さんとソーシャルワークとは何か考える機会になること、そして多くの方にソーシャルワーカーがいる事を知ってもらえる機会になればと考えております。ぜひ、皆さんの参加をお待ちしております。





400名の参加者と60名のSWrが熱く  
ソーシャルワークを語り合いました！！

